

# 日々想ふ

「景観」である。なかでも歴史的・文化的景観は重要な資源である。三重県では亀山市の関宿(重要伝統的建造物群保存地区)が有名であるが、歴史的まちなみには宿場町のほかに、城下町・門前町・寺内町・陣屋町などがある。

津市の歴史を振り返ると、津城跡のある市街地はかつての城下町、大門は津観音寺の門前町として栄えたところである。歴史的まちなみの多くは戦災で消滅しているが、一部に戦災を免れた建物も残っている。また、専修寺(高田本山)のある身田は寺内町で今も環濠(かまごう)が残っている。そのほか市内には伊勢神宮に至る街道が多くなり、伊勢街道の通る上浜町、阿漕町、八幡町には伝統的な木造の建物や常夜燈・道標が残っており宿場町としての面影が見られる。そのほか美杉町を通る伊勢本街道の旧宿場町にも古いまちなみが残っている。

## まち歩き観光のすすめ

歴史的まちなみを散策して

### 鈴木茂基



代に久居藩の陣屋町として発達したところで、陣屋町の周辺(東鷹跡町・西鷹跡町)はかつて武家屋敷のあった武家町で、旅籠町・二丁町・本町などの旧街道筋では古い町家や土蔵を見ることができ、このような歴史的まちなみを残している地域は、人口の減少や高齢化が進み、古い伝統的建造物は取り壊されること少なくなく、町家の減少により歴史的まちなみは損なわれつつある。しかし、その一方で歴史的まちなみの保存や歴史的建造物の活用を考える人も増えてきた。

昨年、歴史的建造物の保存・活用に係る専門家の集まり「みえりテージの会」が設立された(ヘリテージとは「遺産」のこと)。津のエリアでは「津ヘリテージマナー」が建物の調査や図化等の記録をとっている。私もメンバーのひとつとして機会があれば調査に参加させていたが、職業柄その価値を探ったり、地域

観光の新しい形として「まち歩き観光」が流行している。有名な観光地をぶらぶら歩くというのではなく、どちらかというと日常的なまちを歩いて、その地域の歴史・文化・自然・景観・産業などに触れる、見つけようといった「宝探し」のような観光である。

観光の専門書などによると、観光の語源は、中国の古典「易経」の「観国之光(国の光を観る)」という節でその意味は「国はる」と聞かれると、「あ地域のこと」「光」は地域の優れたものや、特色を意味し、「観」は「見る」こと、転じて「学ぶこと」を表している。つまり、観光とは「地域の優れたものや特色を見ること、または学ぶこと」と解

「景観」である。なかでも歴史的・文化的景観は重要な資源である。三重県では亀山市の関宿(重要伝統的建造物群保存地区)が有名であるが、歴史的まちなみには宿場町のほかに、城下町・門前町・寺内町・陣屋町などがある。

津市の歴史を振り返ると、津城跡のある市街地はかつての城下町、大門は津観音寺の門前町として栄えたところである。歴史的まちなみの多くは戦災で消滅しているが、一部に戦災を免れた建物も残っている。また、専修寺(高田本山)のある身田は寺内町で今も環濠(かまごう)が残っている。そのほか市内には伊勢神宮に至る街道が多くなり、伊勢街道の通る上浜町、阿漕町、八幡町には伝統的な木造の建物や常夜燈・道標が残っており宿場町としての面影が見られる。そのほか美杉町を通る伊勢本街道の旧宿場町にも古いまちなみが残っている。

の特性にあった活用方法(価値を高める方法)を講う。

最近開催されたラウラムで、三重大学の菅原洋二教授が津市垂水の千歳山に川喜田半泥子邸宅を復原することの重要性を語った。大半の解体部材が残っており復原できれば、桑名市六華苑の旧諸戸清六邸や伊勢市二見浦の寶日館のように、きっと津市のシンボルになる。

折しも県立総合博物館では「よみがえる昭和の津のまち展」が開催され、戦前の城下町や門前町の風景が絵で再現された。やがて各地の街道では「お雛さまめぐり」が始まる。

みなさんも一度ゆっくりと「まち歩き観光」をしてみようか、と、きつと何か新しい発見があるかもしれない。

(コクド鑑定・調査株式会社代表取締役社長・不動産鑑定士)

## スクールバス購入費用にと 百五銀行が市に2千万円寄贈

(株)百五銀行の上田豪代表取締役会長ら3人が18日(月)、津市役所本庁舎を訪れ、新本館ビル完成への感謝と社会貢献の環として「スクールバス購入費用に」と2千万円を寄付した。

上田代表取締役会長は、「教育面で地域貢献できると考えた」と前業幸市長に手渡した。市長は「百五銀行が、プロンティア・バンキングで目指されるのは人づくりだと思ふ。時間じくして、市は小中一貫校を開校させる。バスはきつと子どもたちの



上田代表取締役会長は、「教育面で地域貢献できると考えた」と前業幸市長に手渡した。市長は「百五銀行が、プロンティア・バンキングで目指されるのは人づくりだと思ふ。時間じくして、市は小中一貫校を開校させる。バスはきつと子どもたちの

## 中学3年生まで医療費無料に 3月26日に名松線復旧イベント

津市長定例記者会見が18日(月)、津市役所本庁舎であり、前業幸市長が「新たに中学生の通院費を助成対象に加え、乳幼児から中学3年生までの医療費を無料にする」と「J.R名松線全線復旧記念番列車」のマーク募集&記念式典

津市長定例記者会見が18日(月)、津市役所本庁舎であり、前業幸市長が「新たに中学生の通院費を助成対象に加え、乳幼児から中学3年生までの医療費を無料にする」と「J.R名松線全線復旧記念番列車」のマーク募集&記念式典

## 津市長記者会見で公表

開催について説明した。助成拡大について、新規に伴う事業費の膨らみは「まちづくり振興基金」を財源に充てる。今年9月実施予定。対象は6500人(ただし、所得制限あり)。窓口無料ではなく、一旦支払い後日還付とする。

## 御殿場自治会有志がEM投入 松食い虫被害の木を蘇生!



「我が町を美しく安全に」を合い言葉に、幹線水路浄化と海岸の松枯れ防止活動に取り組んでいる津市の御殿場地区自治会(濱田武自治会長)の有志が24日(日)、同地内にある藤方幹線水路で水路の水質浄化を図るためEM活性化液を投入した。

参加した8人は、EMの発酵液を幹線水路や町内を巡る水路に次々と投入した。競艇場を巡る水路の部は泥とゴミで埋まり水路の役割を果たしていない。

清掃活動とEM投入は今回が105回目。水深の深い水路ではコイが群れ泳ぐほど自然が回復してきている。御殿場集会所そばの松食い虫で枯れかかった松をEM活性化液を散布し、ボカシをやるなどして、よみがえってきている。

参加者の一人は「大雨が降ると水が水路を逆流して住宅団地の道路にあふれます。避難することができません。事態が発生します」と危機感をあらわにしている。

## 経験を生かし次のステップへ! 第29回県対抗中学バレー



昨年12月25日に大阪府で開催された「JOCジュニアオリンピックカップ」第29回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に県代表として出場した津市の選手4人が18日(月)、津市役所を訪れ、前業幸市長に結果を報告した。

大会には県の各地区から選ばれた12人が出場。津市から平井開登選手(豊里中学3年)、岡篤希さん(朝陽中学同)、小田洋稔さん(久居東中学同)、廣住映樹さん(同)の4人が出場した。

この日訪問した。残念ながら表彰には至らなかったが、初の全国大会を経験した選手たちは「いい経験ができた」「次に生かしたい」など、高校進学後の活動に向けて意欲を見せた。

市長は「このいい経験を大切にしてください。将来はぜひ、サオリーナで行われる大会で活躍を」と激励した。

## あなたの腎臓を守る! 3月6日に県民公開講座

伊藤正明三重大学医学部附属病院院長が講演

慢性腎臓病対策に取り組む三重CKD委員会(三重大学医学部附属病院腎臓内科)は3月6日(日)午前11時〜午後3時、三重県総合文化センター(津市一身田上津部田)中ホールで、三重県慢性腎臓病対策県民公開講座「あなたの腎臓を守る」を開催する。参加無料。定員先着750人(事前申し込みが必要)。

慢性腎臓病は腎機能異常が軽度なら適切な治療で進行予防ができる。初期は自覚症状がほとんど無く、潜在的な慢性腎臓病患者は多い。講座では、学術講演と体験談、減塩弁当の販売、無料相談コーナー。

3月3日(木)必着。